

ESDインターンシップ 報告会

インターン生 田邊綾菜

目次

1. 「ほっと岡山」の紹介
2. インターンシップの活動内容
3. 活動を通して分かったこと・気づいたこと
4. まとめ

ほっとももちゃん



ほっと岡山

岡山からできる東日本大震災の被災者の支援

ほっと岡山の紹介

東日本大震災・原発事故

2011年3月11日

マグニチュード9.0、最大震度7の地震が発生しました。

地震に伴う津波により、福島第一原発で事故が発生し、放射性物質が地上に放出されました。

震災から7年が経ちました。

避難生活を続けている人たちがいます。

突然に暮らす場所が変わり、知らない土地で暮らす不安は大きいです。

一般社団法人ほっと岡山

- 支援対象：東日本大震災の影響で、岡山に避難してきた人
- 主な活動内容：相談、訪問、交流会・勉強会の開催、情報発信等
 - ほっとおたよりNEWSの発行
 - かけはしプラン
 - くるくるお茶会
 - 子どもの居場所 . . . などなど



インターンシップ活動内容

活動前に疑問に思ったこと

- いつまでが避難者？
- 他機関との連携の仕方は？
- 勉強会にはどんな人が来るの？どういう人が関心を持っているのか？
- 広報のやり方は？
- 被災者から学べることは？
- 岡山での豪雨災害の影響は？

活動内容

- 業務日誌記入・会計簿記入
- 会計書類整理
- 名刺情報入力
- 岡山県の教育情報説明会書き起こし
- 子どもの居場所のお手伝い
- 会議の資料作り
- 事務作業手伝い



岡山県の教育情報説明会書き起こし

岡山県の教育事情に詳しい方を呼んで、主に県内の高校や、入試に関する情報説明会

子どもの居場所

家と学校以外の居場所として自由に過ごせる場所

活動を通してわかったこと

避難者とは？

- 岡山で、住居・仕事を持ち、移住という形になっていても、きっかけは避難。
- 自身で移住だと認識していても、元をたどると、避難者だと思ふことも。
- 避難者かどうかは当事者の認識次第。

他機関との連携

- 専門家や専門機関を紹介することは多いが、その際に、安心して紹介できるところかというところには気を付けている。
- 他の支援団体や、市などの行政とのつながりから、協力して活動をすることもある

広報について

- 311スタディーズとかでは比較的年齢の高い人が多い
- 岡山で関心を持っている人も集まる
- 通常の広報媒体は紙・メーリングリストなど
- Facebookなどを使うと、若い人の参加率が上がる

西日本豪雨災害

- 避難者は危機管理意識の高い方が多い
- 自身で状況を判断し、避難行動をとっていた
- 現場での支援
- 行政職員へのアドバイスなど

気づいたこと

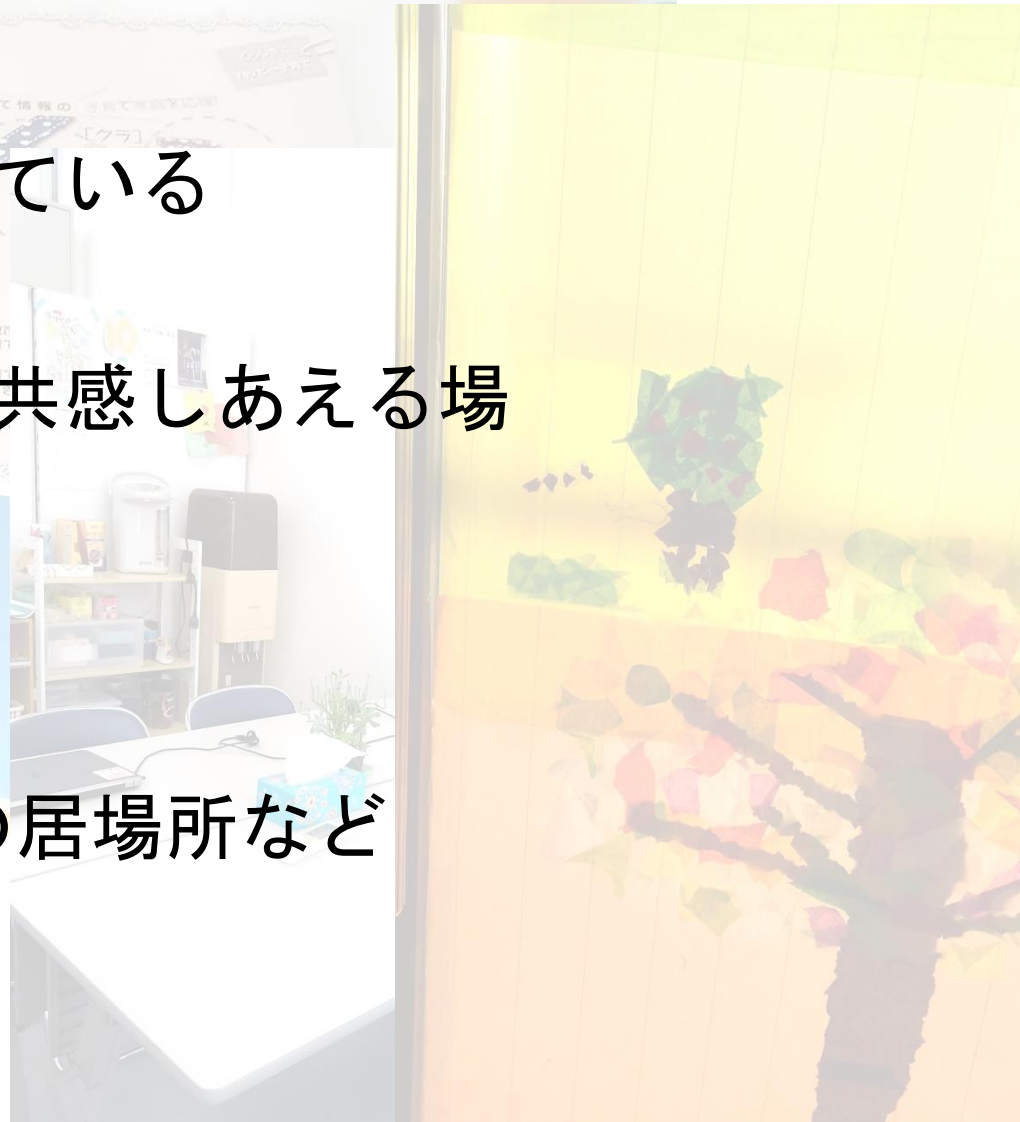
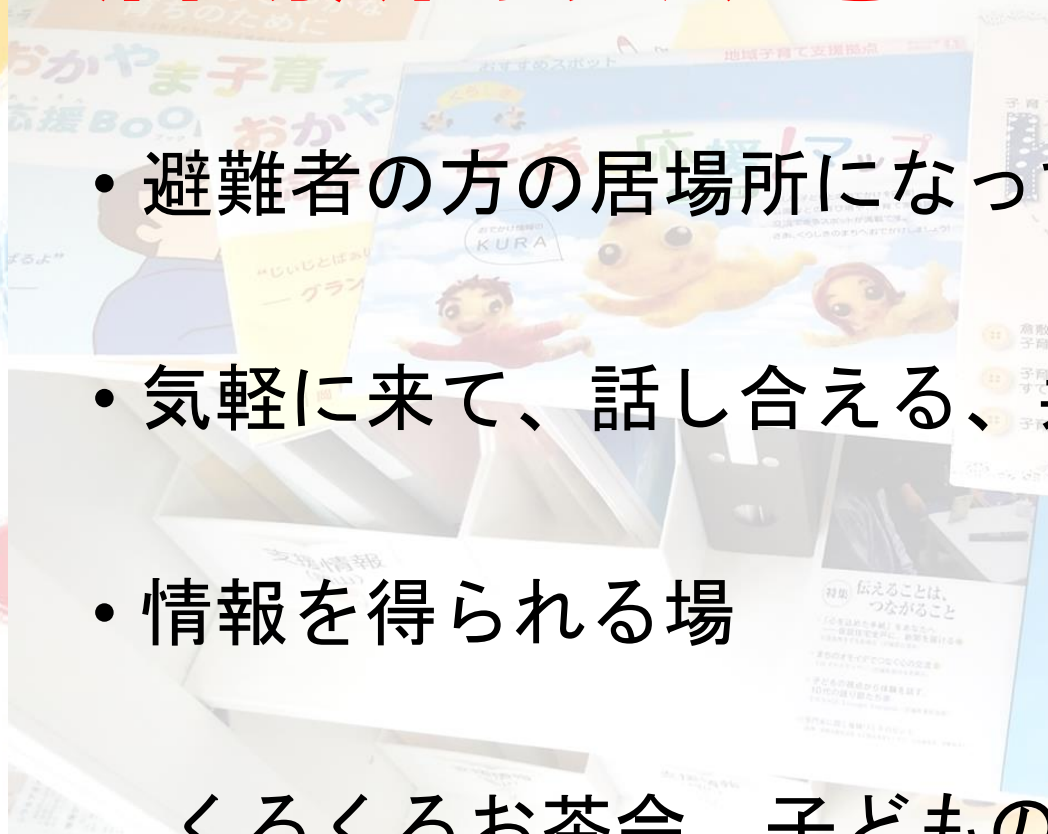
事務作業が多い！複雑！

- 支援活動は事務作業などの小さな活動を一つ一つ積み上げていくこと
- 事業によって、申請のやり方が異なる
- 時間が経過したことで、審査・条件が厳しくなったり、支援が打ち切られることも

居場所の大切さ

- 避難者の方の居場所になっている
- 気軽に来て、話し合える、共感しあえる場
- 情報を得られる場

くるくるお茶会、子どもの居場所など



まとめ

- 不安の多い避難生活の中で、情報が得られる・相談ができる・語り合える場所の大切さ
- 一つ一つの小さな作業の積み重ねが支援につながる
- 一つの支援が色々な方向へ広がっていく

